や対処法がわかり安心した」などの感想が寄せられ、当事者意識の向上につながったと考えている。

今後も広報紙やSNSなどを活用した情報提供や注意喚起を継続し、市民の皆さんに身近な問題として捉えていただけるよう、消費者被害の未然防止に努めていく。

教育費

◎学校給食センター運営状況

【質疑】令和7年度より学校給食センター運営状況の事業実施内容の掲載量が半減した理由は。

【答弁】令和7年度白石市教育施策で、学校給食センターにおける施策の重点事項として「地場産品を活用した給食の充実」「施設の適正な維持管理」「食に関する指導」「食物アレルギーへの対応」を掲げており、これらにあわせ主要な施策の事業の実施内容の掲載を見直し整理したものである。事業の実施内容に変わりはない。

【質疑】「食に関する指導」の指導内容の詳細は。

【答弁】各学校の指導計画に基づき、栄養教諭が各学校を訪問し、学級担任と連携して発達段階や子どもの成長に応じた指導を行なっている。学年ごとにテーマを設定し、小学1年生は「給食について知ろう」、小学3年生は「食べ物のはたらきを知ろう」、小学6年生は「バランスの良い食事を考えよう」などといった指導で、中学生は「朝ごはんを食べよう」「受験期の食生活を考えよう」など、より実践的で生活に直結したテーマで指導を実施している。

【質疑】過去3年間の残食量を示したうえで「食に関する指導」による残食削減の成果と課題は。

【答弁】残食率は各年度とも主食、主菜、汁物は約1割であるのに対し、副菜は約2割と高くなっている。このため栄養教諭が工夫を凝らした献立づくりに努めるとともに「食に関する指導」を通じて、児童・生徒が食について理解を深め、苦手な野菜にも少しずつ挑戦することにつながっていると捉えている。

今後も児童・生徒の野菜などに対する苦手意識の改善を図り、その結果として残食の削減につながるよう「食に関する指導」の充実に努めていく。

特別会計

水道事業

【質疑】有収率を上げる対策として実施している作業は。

【答弁】老朽管の更新工事を計画的に実施するとともに、地上における路面音聴調査を進めている。また衛星を活用した漏水調査で発見された漏水箇所の情報を、今後の老朽管更新工事の優先順位選定の資料として活用するなど、多角的な観点から有収率の改善に取り組んでいる。

令和7年度　一般会計・特別会計決算の状況

［単位：円］

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	19,483,410,904	18,534,436,512	948,974,392
特別会計	8,178,622,668	7,792,177,135	386,445,533
国民健康保険	3,540,368,926	3,447,113,506	93,255,420
介護保険	4,063,854,491	3,804,469,288	259,385,203
後期高齢者医療	574,399,251	540,594,341	33,804,910
合計	27,662,033,572	26,326,613,647	1,335,419,925

令和7年度　地方公営企業会計決算の状況

〔水道事業〕　（消費税及び地方消費税を含む）［単位：円］

項目	収入	支出
収益的収支	920,075,752	798,790,661
資本的収支	182,621,402	350,485,736

〔下水道事業〕　（消費税及び地方消費税を含む）［単位：円］

項目	収入	支出
収益的収支	1,036,812,191	969,429,429
資本的収支	596,438,240	764,117,023

〔病院事業〕　（消費税及び地方消費税を含む）［単位：円］

項目	収入	支出
収益的収支	534,819,767	545,980,828
資本的収支	454,151,000	665,015,672